

静高PTAだより

令和8年3月1日

発行

北海道静内高等学校
PTA事務局『1年度を振り返り、
輝かしい巣立ちに寄せて』PTA会長
新川 智典

早春の候、日ごとに暖かさが増し、春の息吹を感じ季節となりました。PTA会長就任から早いもので今年度1年が過ぎようとしています。保護者の皆様、教職員の皆様方におかれましては日頃よりPTA活動に多大なご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。又、PTA役員各委員の皆様、酒井学校長、初め、田原教頭、中村事務長、各委員会担当の教職員、皆様の皆様方にもご尽力頂き運営出来たことを心より御礼申し上げます。

さて、今日の良き日に、ご卒業される卒業生の皆さん、そして、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございませう。この1年を振り返り、ふれる子供達の姿があり、また、静高祭や球技大会で、PTA活動におきまして、祭の出店・サポーター、春・秋の混合バレーボール大会、出場ミニバレーボール大会とPTA会員の皆様の温かいご理解とご協力のおかげで、無事に年度末を迎えることが出来ました。本場に役員一同、心より深く感謝申し上げます。

改めまして、PTA行事を通じて、保護者の皆様方と教職員の皆様方とも懇親会等で交流でき大変有難く、素敵な時間を共有することが出来たと思っております。良くなったと思っております。最後に子供達を温かく、時には厳しく導いて下さった教職員の皆様本当にありがとうございました。静内高校を誇りに思っています。保護者を代表致しまして、厚く御礼申し上げます。静内でも、更なる飛躍をしてい

ってくださいます。これからも宜しく願います。そして、PTA活動を支えて下さった保護者の皆様、この1年本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

皆様の歩む道が、これから希望と彩りに満ちたものである事を心より祈念しております。

卒業生の皆さんの輝かしい門出を祝し、そして、本校PTAに関わって下さった全ての皆様への感謝を込めて、年度末のご挨拶とさせていただきます。

高P連全国大会

PTA副会長 中村 修司

令和7年8月21日、22日に開催されました2025三重大会に参加してきました。連日テレビで報道され、猛暑の中ではありますが、非常に良い経験をさせて頂きました。

分科会では、無名校を甲子園へ導いた元監督、松葉先生の講演を聞きました。一生懸命頑張ってもなかなか結果が出ない子ども達をどう伸ばすかという、身近で興味のあるテーマでした。が、実演を交えながら楽しくお話を聞かせて頂きました。スピースの都合で、早く帰って息子に実践したいとも思いました。また、バスの移動中や懇

親会では新たな出会いもあり、伊勢神宮で世界平和を祈り、伊勢うどんも食べ、楽しい思い出と貴重な体験をたくさんさせて頂きました。大会でした。ご一緒しました新川会長、遠藤顧問、田原教頭先生、ありがとうございました。

次回の大会も参加します。

お父さん・お母さん 混合バレーボール大会

担当教諭 村田 涼葉

11月16日(日)に第20回新ひだか町長杯争奪お父さん・お母さん混合バレーボール大会が、静内体育館・山手体育館で開催されました。本校からはBクラス・Cクラスともに1チームずつ参加し、Bクラスは優勝した新冠に1セット取りました。



混合バレーボール大会(11月)

たが、力及ばず予選リーグ敗退となりました。Cクラスは予選リーグ2位通過で、静内高校・高静小学校・静内中学校のワイルドカード(2位抽選)で決勝進出権を獲得しました。決勝トーナメントでは準決勝で静内幼稚園にストリート勝ち、決勝戦では新冠にストリート勝ち、見事な下剋上での優勝となりました。

PTAミニバレーボール大会

保護者 長山 清美

12月5日(金)ミニバレーボール大会に参加しました。先生方を含め今年度は6チーム編成で、A・Bグループに分かれリーグ形式で試合を行いました。チームそれぞれに色があり、名プレー・好プレー、怪我なく楽しく大盛り上がり、試合で2年Bチーム、準優勝が3年Aチームとなりました。

試合後に場所を移動し、懇親会を設けていただき、保護者同士、先生方とさらなる交流を深める事も出来ました。今回参加の保護者の方もいましたが、「楽しかった!」との声も聞けました。

来年度も優勝を目指して参加します!! 皆さんも一度参加してみてください。

校長・3年次主任・担任

「新しい時代の パイオニア」



校長 酒井 徹雄

卒業生の保護者等の皆様、本日はお子様のご卒業、誠にありがとうございます。高校卒業は、子育ての一つの節目です。ここまで大切なお子様を見守り、支え続けてこられた日々を思うと、胸が熱くなります。3年間の喜びや悩み、迷いや挑戦を共に歩まれた皆様に、心から敬意を表します。また、本校の教育活動に深いご理解とご協力を賜りましたこと、重ねて感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん。皆さんが本校に入学した令和5年は、世界保健機関（WHO）が新型コロナウイルスの終了を発表した年でした。長く続いた制限の時代がようやく終わりを迎え、「ポストコロナ」「アフターコロナ」という言葉が行き交う中で、皆さんは歩み始めました。

世界中で止まっていた行事、人との関わり、当たり前だったはずの学校生活。それらを、何の見本もないまま、一つ一つ手探りで取り戻していったのが皆さんです。

思うようにいかない悔しさ、先の見えない不安、葛藤もあったことでしょう。それでも皆さんは立ち止まらず、仲間と支え合いながら前へ進んできました。

先日、私が母校の同窓会に出席した際、最後に全員が肩を組み、大声で寮歌を歌う場面がありました。その中に、1人歌詞カードを見ながら歌う同窓生がいました。

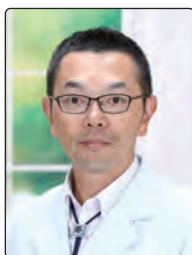
「私はコロナ世代です。みんなで肩を組み、こんなふうに大声で歌う経験は、今日が初めてです。本当に感動しています。」そう語るその姿に、新しい時代を生きる人の強さと優しさを感じました。

卒業生の皆さん。皆さんは、まさに新しい時代のパイオニアです。失われたものを嘆くのではなく、過去を受け止めながら、新しい形を創り出している世代です。変化を恐れず、人とながり、自分の足で未来を切り拓いていける力を、皆さんはすでに持っています。

す。これから先、迷うこともあるでしょう。思うように進めない日もあるはずですが、そんなときは、高校3年間で培った経験と、ここ出会った仲間、支えてくれた人々の存在を思い出してください。

皆さんのこれからの人生が、希望と挑戦に満ちたものとなることを、心から願っています。どうか元気で、それぞれの場所で、自分らしい花を咲かせてください。

「未来を拓く」



3年次主任 鴻上 泰宏

本日、3年次生が無事に卒業の日を迎えられましたことを、主任として心よりお慶び申し上げます。

3年間の学校生活において、お子さまたちは学習や部活動、学校行事などさまざまな場面で成長を重ねてまいりました。人間関係で悩む姿や、進路に迷いながらも前を向こうとする姿を、日々そばで見守ってきました。その努力の積み重ねが、今日の立派な姿につながっていると感じております。また、常に温かくお子さま

「成長」



3年1組担任 町田 哲

またちを支え、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りました保護者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

これからそれぞれの道へと進むお子さまたちが、高校生活で培った力を胸に、自分らしく未来を切り拓いていけることを、教職員一同、願っております。

3年次生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。本日、無事に卒業を迎えることができて、うれしく思うところ、大変ほつとしているところです。

3年前、自分自身も少し身構えながら担任を務め、クラス替えなどを経て生徒たちとともに歩んで参りました。ありがたいことに、1年次の頃から年次のすべてのクラスの授業を3年間担当させていただき、年次の生徒全員の成長の様子を見る機会に恵まれ、3年間楽しく過ごさせていただきました。学校行事やさまざまな活動を通じて、日々大人に近づいている様子を見

て、とても頼もしく感じました。

3年間で、自分自身も結婚、第一子の誕生と人生の大きなイベントを経験することとなりました。同時に、親になることの責任の重さや、保護者の方々が経験してきた数々の苦労も、まだほんの僅かですが、体感しているところです。生徒の皆さんは卒業して、それぞれの進路に向かっていくことと思いますが、保護者の方々への感謝の気持ちは常に持ち続けていてください。いつか、お互いさらに成長しみにしています。



総合的な探究の時間 (R5年)



入学式 (R5年)

「共育」

3年2組担任
井樫 京太

保護者等の皆様、3年次生の皆様、ご卒業おめでとうございます。初め担任とあり、緊張しながら制服に袖を通し、白いネクタイをいつもより固く結んだ入学式がついにこの間のように感じます。

私の母校の職員室前には「共育」という言葉が掲げられていました。これは「教育」をもじったもので、生徒も教員も共に育とう！という意味でしょう。当時は、まあそんなことも言うわなとこの言葉を軽んじていた私でしたが、この仕事に精一杯取り組むなかで、まさに今「共育」されている（している）のだと感じるようになりました。

もちろん、生徒を支える責任を全うしようと日々準備を重ねました。「共育」されようという姿勢で仕事をすることはありません。しかし、どれだけ準備を重ねても、生徒の皆さんに気づかされることだらけでした。反省は尽きません。もし、何かのご縁で出会った皆様のために少しでも力になることが出来ていたのなら、これ以上ない幸せです。

保護者等の皆様には、3年間本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。最後にありますが、皆様の益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。

「人生を振り返った時の後悔を最小化しよう」

3年3組担任
川内 康生

3年生関係者の皆様卒業おめでとうございます。私は「できるだけ充実した高校生活を送ってほしい」、「自信を持ち後悔のない進路選びをして欲しい」この2つを最も大切に考え、学級経営をしてみたいと、3年間を振り返ると、生徒は自分なりのベストを尽くし、保護者は生徒への支援を惜しまない、こういった環境で担任をさせていただけただけはこれ以上ない幸せなことでした。ここで感謝を申し上げます。

卒業生はこれから大人としての人生が始まりますが、できるだけ後悔のない人生を送って欲しいです。人生の後悔は失敗よりも「やってみなかったけどやらな

かった」が大半でしょう。また誰か愛する家族や友人が居るといっても代わりのきかない最高の人生の1つを歩んだと思えるのではないのでしょうか。迷った時には自分の心に従い、時には大切な人の声に耳を傾け、それぞれの人生で輝くことを願っております。

「偉大な存在」

3年4組担任
宮城 萌

3年次生の皆さん、保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。本日無事に卒業式を迎えることができたこと、大変嬉しく思っております。保護者の皆様におかれましては、この3年間、静内高校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。お忙しい中、毎日学校へ送り出し、進路実現に向けてお子様と共に奮闘していただき感謝と敬意の想いでいっぱいです。

私が高校生の頃は、「親」という存在に甘えていました。あの頃は、どうしようもない不安と根拠のない自信に振り回され、訳も分からず親にぶつけていたなど、3年次生も同じようにたく

さんの悩みと闘っていました。そして今、担任という立場になり「親」という存在がどれだけ偉大なものかを痛感しています。成長のために「試練」を与える、「叱る」、「守る」、「一緒に「闘う」。

3年次生は保護者の皆様のたくさんの愛情を受け、学び、今日この日を迎えました。至らない点ばかりの担任で、たくさんご迷惑をおかけしました。3年間で芽生えた「親心」を胸に、改めて感謝申し上げます。

「卒業を迎えたみなさんへ」

3年5組担任
山本 洋介

3年次生のみなさん、保護者等の皆様ご卒業おめでとうございます。お子様の日常を、毎日休むことなく陰で支え、無事にこの日を迎えられた保護者等の皆様に対し、深甚なる敬意を表します。

さて、最後の機会ですので、卒業していくみなさんにぜひ忘れないでほしいことを述べさせて下さい。まず、一つめは「主体的であれ」ということ。二つめは「すべては自分の捉え方次第」ということ。そして三つめは「相手の立場に立つ

て考える」ということです。これらはどれかが欠けていると、不満が溢れてきます。思い通りにいかないことがあると「自分以外の何か」のせいにしてたり、考え方がとつて幸せを感じることができないのに、捉え方のせいでまったく逆の感情を持つたりもするため要注意です。似てるけどそれぞれ異なる日々を過ごしたこの学校を卒業し、決して平坦ではない道を歩き始めるみなさんには、これらのことを大切にし続けてほしいと思います。どうせ一回しかない人生ですので、よき人生を歩んでください。あなたがたが今の私の歳になったとき、みなさんがどんなことをしているのかを伝え聞くのを楽しみにしています。



見学旅行(R6年 関西・関東)





「夢に向かって」

北海学園大学合格

3年1組 加藤 那奈

私は中学生の頃に将来の夢について考えたとき、初めて漠然と図書館司書を志すようになりました。しかし中学ではまだ将来についての具体的な見通しは全くと言っていいほど立っていませんでした。高校に入り本格的な進路活動が始まり、やとと将来について具体的に考えるようになりました。静内高校では地域の職業体験ができるインターンシップ制度があり、高校2年生のときに図書館ヘインターンシップに伺いました。そこで仕事の様子を学び、実際に司書の仕事を体験しました。この体験があったからこそ図書館司書になるための具体的な目標を立てることができました。

ただインターネットや本で調べるだけでなく、実際に体験して学ぶことの大切さを知り、このような制度をとっている静内高校に入学できて本当に良かったと改めて感じました。進路活動の手助けをしてくださった先生方、そして私の夢を応援してくれた家族・友人には感謝の気持ちでいっぱいです。進学先でも夢に向かってひたむきに頑張ります。

「家族への恩返し」

新ひだか町役場内定

3年2組 伊藤 葉南

私が公務員に進路を決定したのは、3年生の4月頃でした。それまで私には特にこれといった夢はなく、漠然とした中、民間就職で進路活動をしていました。そんな私が最終的に公務員を選択したのは、安定した職業に就職して、いち早く家族に恩返しをしたいと考えたからです。

進路を決定してからは、これまでの人生で一番と言っても過言ではないくらい辛い日々が続きました。公務員試験は9月末にあり、それまでアルバイトや学校の勉強もしつつ、公務員の勉強をするという休まることのない日々が続きました。このままいつまで本当に受かるのか」という不安に苛まれました。そんなときに「あなたなら大丈夫だよ」などと家族や友人が励ましの言葉を掛けてくれました。私はそんな家族や友人を改めて大事にしたいと思いました。

「小さい頃からの夢」

札幌医学技術福祉歯科専門学校合格

3年3組 山根 菜々恵

私が歯科衛生士を目指したいと思うようになったのは、小さい頃から通っていた矯正歯科の仕事内容に興味を持ったからです。沢山の学校がある中でも臨床実習が多く、雰囲気自分が合っていたため、この学校への進学を決めました。

総合型選抜では学力だけでなく、意欲や姿勢も重視されることから、オープンキャンパスに何回も参加して先生に顔を覚えてもらい、志望動機や面接では積極的に授業に取り組んでいきたいということを自分の言葉でアピールしました。

部活との両立が大変で途中で投げ出したくなりましたが、最後まで諦めずに取り組んだことがすべての結果に繋がったと考えています。

これまでの自分の挑戦に対して一番近くで応援してくれた両親や、友達、進路活動に協力して頂いた先生方には感謝の気持ちでいっぱい입니다。これからは厳しい道になりますが、夢に向かって頑張っていきます。本当にありがとうございました。



球技大会(R6年)



陸上競技記録会(R6年)



3年3組



「ありがとう」

苦小牧信用金庫内定

3年4組 川奈野 要

3年生が始まった頃、まずは就職先で悩みました。得意なこと、やりたいことが特になく、どうすればいいかわからなかったからです。でもそんなときにふと生徒会を思い出し、人からありがとうと言われることが嬉しく楽しいことに気づいて、信用金庫に就職を決めました。

次に面接で悩みました。初めての面接練習はボロボロ。だから私は友達や先生を頼り、練習を重ねました。そうして練習するうちに、面接で話すことが苦ではなくなっていて、少し楽しいとすら思えるようになりました。そして試験当日。緊張と不安に襲われました。でもそんなとき、面接に向かう車の中で、母親に自信を持って励ましてもらったことや、友達や先生からいろんな言葉をかけてもらったことを思い出して、気持ちがすっきりと晴れました。なんなら感謝まで少し泣いたくらいです。

こんなふうに、親、友達、先生など、いろんな人を頼らせてもらって、助けてもらって、そうして就職活動乗り越えて、9月に内定をいただくことができました。お世話になった皆さんには感謝しかありません。

「憧れを形に」

札幌市立大学合格

3年5組 小野 杏紗

私は幼い頃に目にした看護師の姿に感銘を受け、看護師を志すようになりました。また、祖母の家へ向かう途中に見える札幌市立大学は、小学生の頃から憧れの存在でした。

高校生になり改めて大学について調べる中で、人間重視の看護を学べる点に惹かれ、札幌市立大学の受験を決意しました。また、高校生活で培った経験を生かしたいと考え、学校推薦型選抜を選択しました。1年生から一般受験を意識して学習してきましたが、3年生の夏頃から本格的に推薦入試対策を始めました。

推薦入試では小論文と面接で合格が決まります。小論文では自分の考えを言葉にする難しさに悩み、何度も書き直しを重ねました。面接では思いを的確に伝えられるよう、先生方や友人に協力してもらい練習を重ねました。高校生活での様々な経験は自分の考えを伝える際の大きな支えとなりました。

結果合格することができました。支えてくださった方々への感謝を忘れず、将来は看護師として社会に貢献していきたいです。



卒業生川柳

3年間を振り返って

卒業生川柳は、
「論理国語」の授業で
3年間を振り返り
作成しました。

恋愛

廊下でね ちらっと見るよ 君のこと
(からあげくん)

友達が 別れて嬉しい 焼肉だ
(くわちゃん)

高校だ 彼女作ろう もう終わり？
(造船)

中学の 憧れ全部 幻想だ
(94%)

テスト期間 あいつに邪魔され 山岡家
(the o)

テスト期間 勉強してない うそつくな
(造船)

赤シート 毎日眺め 目が痛い
(チューリップ)

テスト期間 スマホを開き 外は朝
(おおなばら)

勉強・進路

高校生活

優勝だ ソフト練習 朝6時
(造船)

千羽鶴 もっと折るから 紙をくれ
(ベリッパ)

お弁当 母の愛情 MAXだ
(ばなな)

緊迫の 球技大会 最終戦
(ツギハギ)

行きたくない 貴方が居たから がんばれた
(らー)

寒くても コンビニに行って アイス買う
(チューリップ)

仲間との 歩く思い出 学校祭
(トナカイ)

3年間 一番長いの 3年生
(林檎)

部局活動

3年間 記録しながら アイシング
(ひつじ)

夕焼けに 仲間と鳴らす 音楽室
(早く卒業したい)

将棋指す ゆっくり詰めて 友なくす
(ツギハギ)

入っけば 瘦せてたのかな 部活動
(からあげくん)

休みの日 ボラ局活動 二度寝なし
(バスカル)

山本T 歩けば廊下 道開く
(限界アルバイター)

カラオケは 意外な人が ノリが良い
(ジギスカンのタレ)

友達と 熊に怯える 山の道
(良きライバル)

高校で 初めてマック うまかった
(キャサリン)

先生・友達

自主研修
遅刻して派の反省文

今年度(令和7年度)進路状況

(令和8年2月9日現在)

決定・内定者 ※国公立大学一般入試の合格発表は3月です。

進 学	合計	男	女
国 公 立 大 学	4	0	4
私 立 大 学	34	24	10
短 期 大 学	1	0	1
看 護 学 校	6	1	5
専 門 学 校	39	15	24
合 計	84	40	44

就 職	合計	男	女
管 内	26	15	11
道 内	9	6	3
道 外	2	2	0
合 計	37	23	14

【国公立大学】

札幌市立大学(2) 名寄市立大学(2)

【私立大学】

北海学園大学(7) 北星学園大学 札幌大谷大学(2) 札幌学院大学(5) 札幌国際大学 星槎道都大学(2)
 東海大学(札幌)(2) 日本医療大学(2) 北海道医療大学 北海道科学大学(2) 北海道情報大学 北海道文教
 大学(2) 北翔大学(4) 桜美林大学 昭和女子大学

【短期大学】

京都経済短期大学

【看護学校】

苫小牧看護専門学校(4) 札幌看護医療専門学校 北海道医薬専門学校

【専門学校】(看護学校を除く)

北海道介護福祉学校 札幌青葉鍼灸柔整専門学校 札幌医学技術福祉歯科専門学校 札幌看護医療専門学校(2)
 北海道医薬専門学校 札幌医療秘書福祉専門学校 札幌こども専門学校(2) 札幌調理製菓専門学校 札幌ビュー
 ティーアート専門学校 札幌ブライダル&ホテル観光専門学校(2) 札幌ほいく専門学校(2) 札幌マンガ・
 アニメ&声優専門学校 札幌ミュージック&エンターテインメント専門学校(2) せいとく介護こども福祉専門
 学校 日本航空大学校北海道校 新千歳空港キャンパス 日本工学院北海道専門学校 日本航空大学校 北海道
 校 新千歳空港キャンパス(2) 北海道エコ・動物自然専門学校 北海道自動車整備大学校(2) 北海道情報専
 門学校(4) 北海道どうぶつ・医療専門学校 北海道美容専門学校(3) 吉田学園公務員法科専門学校(2) 吉
 田学園動物看護専門学校(2) 専門学校ESPエンタテインメント福岡

【民間就職】

苫小牧信用金庫 びらとり農業協同組合 社会福祉法人 静内ペテカリ(2) 有限会社静内ケアセンター 有限
 会社食通 新和測量株式会社 株式会社出口組(2) 農業生産法人 株式会社ファームホロ みついし昆布温泉
 蔵三 近澤興業 中山石油株式会社 新冠温泉 ホテルヒルズ(2) ヒカル牧場 株式会社手塚組(2) 株式会
 社カナモト 佐川急便株式会社 日清医療食品株式会社 日本郵便株式会社北海道支社 株式会社ハスコムモバ
 イル 株式会社さんふらわあマリン&エージェンシー トヨタ自動車北海道株式会社 野口観光株式会社プロフ
 ェッショナル学院 アイリスオーヤマ株式会社 西さっぽろ病院 日本通運株式会社 株式会社東京エネシス
 (2)

【公務員】

新ひだか町職員(3) 日高町職員 防衛省職員 北海道警察

高P連日高支部 研修会

3年次保護者 中村 玲子

12月12日、静内高校を会場として、PTA日高支部第2回研修会が行われました。PTA関係者および本校教職員を含め約20名参加しました。

講師としてお招きしたのは、札幌市で特に人気のある占い師のニイナ・ゲイト様。北海道テレビの「イチオシ! モーニング」の占いコーナー「ニイナ・ゲイトのきょうのHappy」を毎日更新されている方で、昨年度の高P連日高支部研修会で講演を頂いたところ、大好評につき今年度もお呼びすることとなりました。

講演は「数名定理の実践的活用方」家庭や職場の人間関係を円滑にするヒント」と題してお話を頂きました。1と9の数字にはそれぞれ人間の性格があり、生年月日の数字の組み合わせでその人の人生や性格に現れるということ、人間関係を円滑にするためのヒントを頂きました。

「なるほど!」とうなずいてばかりの1時間半でした。

2年次茶話会

年次委員長 藤高 恵

12月18日、2年次の茶話会に参加させて頂きました。今回お手紙を出してからの期間が短く、なかなか人数が集まらなかったのですが、みなさん声をかけてくださって、先生方、保護者合わせて20名参加してくれました。

飲食を共にしながら歓談し、先生方が用意してくれた企画、子ども達の見学旅行の様子を振り返るスライドショーを見て楽しめました。自分たちで撮った写真、動画を各班で編集して作ったものは素晴らしいものでした。最後まで話が盛り上がり、1時間半があつたという間に過ぎてしまいました。楽しい時間をありがとうございました。

最後の1年、子ども達の行事、PTA行事にたくさん保護者が参加してくれることを期待しています。

「静高PTAだより」のカラー版は、学校ホームページでもご覧になれます。

こちらのQRコードからアクセスしてください。



● 父母からのことば

「卒業おめでとう」

山田 あづさ

卒業おめでとう。あつという間の3年間で、ね。年中から始めたサッカーも、良い仲間に出会って、引退までよくやり遂げたと思います。

高校生活の中で、自由になれないこともたくさんあったと思います。親としても自分が同じ年頃だった時と時代も代わり、少し柔軟さが欠けていたのかもしれない。ですが、これから社会人となり、大人になっていく中で、少しでも理解してくれる時が来たらいいかなと思っています。

4月からは新しい環境になります。時には悩みながら成長してくれることを期待しています。

「バレーでつかんだ絆と成長」

矢野 千美

3年間バレーボールに打ち込み、仲間と共に流した汗と涙、励まし合いながら乗り越えた日々は、これらの人生の大きな糧になることでしょう。「部活を辞めたい」と口にしたことも

ありましたが、先輩や後輩、仲間に恵まれ、12年間続けてこられたことを誇りに思います。

また、先生方の温かく、時に厳しいご指導があったからこそ、ここまで成長できました。心より感謝申し上げます。

バレーボールを通して得た学びと、かけがえのない絆を胸に、新たな道でも自分らしく、力強く歩んでください。いつでも応援しています。卒業おめでとう。

「新たなゴールへ」

渡部 千恵子

達也、卒業おめでとう。高校生活はどうでしたか? 3年の高体連で引退すると言っていた大好きなサッカーも9月の選手権まで続ける事ができて幸せでしたね。悲願の全道出場まであと一歩でしたが、キーパーとしてチームメイトに大きな声で指示を出し、体を張ってボールを止める姿、とても頼もしかったです。長い間お疲れ様。最後までやりきったね。

これから新しい世界での生活が始まります。全く未知の場所です。新しい出会いが待っています。やりたかったこともたくさん見つかる事でしょう。自分の言動に

責任を持ち、夢を叶えるべく切り開いていつて下さい。そして今まで以上に周りへの気遣いと感謝の気持ちを大切に過ごして下さい。困難なこともあるでしょうが全ては経験、自分の糧となると信じて諦めずに進んで下さい。達也ならきっとできます。応援しています。

